

★**町政の動き**

- ◎助役人事「決定」
森本智史氏（46歳 県から出向 智頭町企画財政課長）
- ◎補助金返還「決定」：県への返還金 約518万円
中山間地域直接支払いに係る**補助金返還**（町一般会計より支出）
- ◎不納欠損処分「決定」（最終金額 約623万円）
給水使用料内訳＊：17年までの**未収金** 約516万円
18年分は**賦課しない** 約107万円
- ◎訴訟経過 **虚偽報告に係る損害賠償請求**
平成18年4月より第1回口頭弁論が始まり、平成19年1月には第6回目が予定されている。
（「**事故繰越**」についての司法判断が焦点か？）
- ◎税率引き上げ（固定資産税率を1.4% ⇒ 1.5% へ引き上げ）を3月定例議会へ「提案準備」されている。
- ◎那岐保育園の保護者会が那岐保育園の存続を訴え**陳情書を町長と議長へ提出。715人が署名。**

★**安住仁志の一般質問** …要旨 （ ）は安住のコメントです。

- 安住

「織田町政の今後の基本方針は何ですか。前半の2年間は多くの補助金返還問題に終始した。後半は初心を忘れることなく町民本位の施策を、法令を守りながら、スピードをもって実施されたい。智頭町の将来像を問う。」
- 町長

「法令遵守に則りながら地方分権時代に自立しうる町づくりを目指す。次の点に注力。
＊財政の健全化 ＊諸団体の支援 ＊教育 ＊文化活動 ＊林業
＊企業誘致 ＊病院 いきいきした町づくり」
（町民が実感できる成果を期待したい）
- 安住

「『自治の原点は住民の命を守ること』と固く信ずるものである。智頭町民の命を守る智頭町の宝物 ⇒智頭病院をしっかりと守って欲しい。17年度の経常収支実績と18、19年度の経常収支予想を町民に教えてください。」

- 町長

智頭病院のあり方を検討している。
経常収支 H17年度実績：5億4000万円赤字
H18年度予想：5億の赤字
H19年度予想：5億の赤字

（岩手県には智頭町とよく似た環境の中で黒字経営をしている自治体がある。そこでは住民との対話を重視し、住民の希望がくみ上げられ、病院の考え方にも住民が協力する良い関係が築かれている。その関係の上に立って古いままの施設でも、ここ6年間の黒字経営で、町の一般会計へ1億2千万円を貸し付けている。
『病院運営』視察研修（平成18年11月7日）の報告は別途プリントしていますのでご要望に応じてお渡しします。）

- 安住

「智頭町の次世代を担う智頭町の宝物 ⇒智頭町の児童生徒の命をしっかりと守ってほしい。教育施設の耐震化にすみやかに取り組まれない。地震のニュースや山崎断層の情報に接するたびに心配です。改築工事はいつになるのか。

- 町長

「智頭町教育ビジョン審議会にて検討中。従って、学校建物の補強工事、耐震化及び改築工事時期はわからない。」

（平成18年度12月に出された智頭町教育ビジョン中間報告では“子供の生きる力”を重要視しているが、子供の命が危険にさらされている問題には一切触れられていない。地域に対しては“学校＊家庭と連携を推進し自らの教育力を向上する”ことが求められている。学校建物等の教育環境の整備は地域ではなく行政の責務で、それは教育ビジョンの枠外とみなされているのだろうか。平成19年3月末の智頭町教育ビジョン報告書を注目したい。）

- 安住

「法令遵守は行政の基本規範であり、行政はすべて『町民のため』に執行されたい。新聞にウラ金はないと報道されていたが、その後も出てきていないのか、あるなら速やかに町民に開示してください。」

- 町長

狭義のウラ金、悪質なものではないが、広義の不適切な会計はある。議会終了後発表します。

（翌日12月13日に総務常任委員会において、会計外預金5件 約1,840万円の内容が開示された。）

自治の原点は住民の生命を守ること